

❖業務継続計画（BCP） 自然災害

総論

- 基本方針（重要）
 - ■ 利用者の安全確保：災害時、命と健康を最優先。
 - ■ サービスの継続：最低限の機能維持に努める。
 - ■ 職員の安全確保：職員の生命を守り、生活の維持に注力。
-

被災想定と業務の優先順位

- 被災想定
 - ■ ライフライン復旧見込み：
 - ・ 電気：3日 / 水道：1週間 / ガス：3週間 / 通信：3日
 - 優先業務（重要）
 - ■ 身体介護（特に独居の利用者を優先）。
 - ■ 当面中止：生活援助・入浴支援。
-

緊急時対応

- 発動基準
 - ■ 地震時：震度5強以上の場合。
 - ■ 台風時：警戒レベル4の大雨・洪水注意報が発令された場合。
 - 安否確認
 - ■ 利用者：名簿を基に速やかに確認。
 - ■ 職員：サイボウズやメールで状況収集。
-

備蓄品管理

- 飲料水：必要量を事業所ごとに計算、アクアクララで管理。
 - 非常食・医薬品：126食分、3拠点に分散保管。
 - 衛生用品：マスク、防護服、消毒液など各事業所で完備。
-

平常時の準備

- ■ 耐震対策：全施設での安全強化。

- データ管理：クラウド（サイボウズ、カイポケ）を活用。
 - 研修・訓練：毎年4月と9月に実施。
 - 改訂時期：4月常務会でBCP見直しの実施
-

❖ 業務継続計画（BCP） 感染症

1. 計画の概要

- 法人名・対象事業所：
 - 法人名：株式会社 安心生活.com
 - 対象事業所：
 1. 訪問介護センターさふらん江南（江南市）
 2. 訪問介護センターさふらん一宮（一宮市）
 3. 訪問介護センターさふらん一宮北（一宮市奥町）
 - 目的：
 - 感染症発生時にもサービス継続を確保。
 - 利用者と職員の安全を守りつつ業務を継続。
-

2. 平常時の取り組み

1. 体制整備
 - 意思決定者・対応担当者の明確化。
 - 最新情報の収集と事業所内での共有（国・自治体の指針）。
 2. 感染防止策の実施
 - 健康管理（職員と利用者の検温・記録）。
 - 手指消毒、換気の徹底、マスク着用の推奨。
 3. 防護具・備蓄品の確保
 - 消毒液、防護服、マスク、非常食の備蓄管理。
 - 在庫の定期確認と調達手段の確立。
 4. 研修と訓練
 - 研修・訓練：毎年4月と9月に実施。
 - 3月常務会でBCP見直し
-

3. 感染疑い者発生時の対応

1. 初動対応

- 管理者への迅速な報告と地域の医療機関への連絡。
 - サービスの継続可否を検討（居宅介護支援事業所と連携）。
2. ■ **利用者対応**
 - 必要なサービス提供を可能な範囲で継続（感染対策を徹底）。
 - 医療機関受診や必要なケアの実施。
 3. ■ **職員対応**
 - 自宅待機、症状経過の監視（保健所の指示に従う）。
 - 職場復帰のタイミングについての指導遵守。
-

4. 感染拡大防止体制

1. ■ **保健所との連携**
 - 濃厚接触者リスト作成と特定協力。
 - 消毒範囲・運営方針の指導を受け実行。
 2. ■ **勤務体制の調整**
 - 出勤可能な職員リスト作成とシフト再編成。
 - 法人内および自治体の人材リソース確保。
 3. ■ **防護具と消毒資材の管理**
 - 必要物品の不足に備え、調達先を多様化。
 - 在庫確認と自治体との連携強化。
-

5. 情報発信・メンタルケア

1. ■ **情報発信**
 - 利用者、家族、関連機関への透明性のある説明。
 - 必要に応じた文書での詳細共有。
 2. ■ **メンタルケア**
 - 長時間労働防止と相談窓口の設置。
 - 職員への心理的サポートを重視。
-